

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	大津市立 比良保育園
代表者氏名（管理者）	園長 久保田 はるみ
法人名	大津市
定員（利用人数）	108名（令和3年度）
施設・事業所所在地	滋賀県大津市南比良585-1
T E L	077-592-1186
F A X	077-592-1196
電子メール	otsu1433@city.otsu.lg.jp
ホームページアドレス	https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/015/hoikuen/1433/1468907274633.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和3年12月3日

3 評価の概要

○ 総合評価

大津市立比良保育園は、大津市湖西の比良山系裾野の南比良にあり、四季折々の自然に触れ合える豊かな環境の中にある保育園です。園の保育目標である「人としてたくましく心豊かに生きる基礎となる力を育む」を目標として、子どもたちが五感を通して自然体験すること、そして、豊かな表現活動を通して、自分らしく思いを表わすことを大切にした保育に取り組んでいます。

令和3年度の保育研究テーマである「感じよう 考えよう 伝えよう～自分ってすごいと思える“たくましさ”を育てよう～」をモットーに、園児は主体性を持ち、明るく、元気に、たくましく育っています。同園は現在、園舎の半分以上を園舎耐震改修等整備工事が行われている最中で、保育は元園庭であった場所に建つ仮設園舎でおこなっています。仮設園舎のため様々な環境面での支障が出ていますが、職員の創意工夫により改善し、狭いなりにも子どもたちは楽しそうに過ごしていました。

○ 特に評価の高い点

① 園独自の保育人材確保への取り組み

同園は、公立保育園のため保育士の採用や育成計画等は、市として計画され人材配置等行われています。しかし、大津市最北端に位置する比良近辺は、求人が集まりにくい地域だと言われています。そこで、園長や職員は、求人を諦めることなく、手作りのチラシを作成し近隣の市民センターへ掲示し、職員の人づてで保育士人材を探して確保しています。このように人材確保を市にお任せするだけでなく、自分たちでよい人材を探すという意欲は、良い人材が集まることで、結果として園全体の保育の質の向上につながるものだと考えます。

② 働きやすい職場環境と充実した研修体制

園長は「現場ファースト」の理念のもとに、職員が働きやすい職場をつくるため各職員へ細やかなアドバイスを行っています。地域的な交通手段の不便さを解消するため時差勤務の組み方を工夫したり、ストレスチェックによる職員のストレス原因を見極めたりして、職員が楽しく働きやすい職場づくりを目指しています。職員ヒアリングからも「働きやすい職場」や「ずっとここで働きたい」との言葉が聞かれました。

また、園内研修も充実しています。市としての年間研修計画が立てられており、職員個々の担当・経験等に応じた研修計画（対象別研修、内容別研修）のもと研修目的を明確にして、職員を外部研修へ積極的に派遣しています。さらに、職員は必要時には先輩保育士や上司に相談しやすい人間関係を作っています。

③ 地域との関係を大切にした保育

これまでの園の歴史や地域性もあり、園と地域は強い関係で結ばれています。現在、コロナウイルス感染防止のため、子どもたちは頻繁に外へ出かけたり、地域の方々が園へ訪問することは難しい状況です。天気の良い日にたまに外出した時は、住民から子どもたちへ気楽に声を掛けてもらう関係ができています。この様子から、地域全体で比良保育園の子どもたちを温かく見守っていることが推測できます。今後もこの関係を維持・継続されることを望みます。

④ 子どもの主体性・多様性を認める保育

園長や職員は、専門性を発揮しながら子ども一人ひとりの成長発達を温かく見守っている様子が見て取れました。「一人ひとりの思いを大切にする」をスローガンに、年齢別保育とともに異年齢交流による育ちあいや、子どもが自らの遊び方を自分自身で選択しやすいよう、判りやすい絵やイラストなどの視覚に訴える工夫をしています。

また、子ども一人ひとりの思いを聞き取る、あるいは、配慮が必要な子どもにも、じっくり関わる個別保育が行われていることが確認できました。

○ 改善を求められる点

① 災害時対応や防犯・事故防止に向けた具体的対策の検討

津南市が策定した「危機管理マニュアル」に則って、「比良保育園避難訓練実施計画」を立て、予告なし訓練も含め毎月何らかの避難訓練を実施しています。また、緊急時を想定した引渡し訓練も実施しています。これに加えて、避難訓練への地域住民の参加を得て地域全体で子どもを守る体制づくりが望まれます。更に、散歩時に道路の危険個所の把握を行っているとのことで、その危険個所の情報を保護者や地域へ公開され、地域全体の危険場所マップを住民と共有されることを期待します。

② 苦情解決の仕組みにおける周知方法について

苦情解決窓口などの受付体制は、入園のしおりや玄関に掲示しています。また、仕組みの説明は、3月の継続児説明会や入園説明会で毎年行っています。更に、苦情案件については必要に応じ保護者会で報告しています。今後、園独自の保護者アンケートの実施や苦情解決の結果を個人情報に配慮した形で地域やホームページなどへ公表していくことが望まれます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

コロナ禍で異年齢保育や地域交流ができなかったり、耐震工事に伴う仮設園舎での保育など今年度は多くの制約があるなか、職員がそれぞれの専門性を活かしながら子どもたちに豊かな保育を創造してきたことを評価していただけて嬉しく思う。

保護者アンケートについては、この数年、園の取り組みを評価していただく意見が大半であったため、「本音が言えていないのでは？」と逆に不安に思っていた部分もあったが、今回匿名でのアンケート結果から、職員が子どもたちのためにと頑張ってきたこと、保護者に園の取り組みや願いを発信してきたことを理解し、認めていただけていることがわかり、職員の安堵と自信に繋げることが出来た。

また、大津市の一番端に位置し、働いてくれる人材も見つかりにくい中、幅広い年代の地元在住の職員が働いている。働き続けられる体制づくりと共に、みんなが気持ちよく働くことができる職場作りに努めていることが、職員の言葉から語られたという点では、『現場ファースト』のスローガンが具体的な取り組みとしてできていることを確認できた。

比良保育園は周囲に公的な機関や建物がなく、子どもたちが身近に園外の方々と交流し、社会性を育む機会が作りにくい状況ではあるが、地域の方から『この地域に子どもの声が聞こえていること自体が大事である』との言葉をいただき、私有の田んぼの畦歩きや土手のぼり、おたまじゃくしや虫つかみなどを自由にさせてもらえ、他の園ではできない経験を、地域の方々の理解の中で豊かに積み重ねることができている。

地域に見守られ、大切にされている保育園であることを深く受け止め、改善点の①にあるように地域と共同で取り組む安全対策、避難時の協力などをお願いしていただければと考える。